

厚生労働省雇用均等・児童家庭局  
母子保健課 御中

## 要望書

### 母乳の放射性物質濃度の調査は 是非継続し、公表をお願いいたします。

福島第一原子力発電所の事故の影響により、乳児を持つ授乳婦とその家族は、母乳育児を続けてよいのかどうか、非常に不安に思っておられます。我々専門家も、入手しうる限りの情報をもとに、現段階では避難指示や飲食物の摂取制限等の指示に従う限り、母乳での育児を継続してよいと考えております。

4月30日に公表されました、母乳の放射性物質濃度に関する調査結果は、このことを裏付ける結果でした。様々に類推することも可能ですが、今回のように母乳を直接調査していただくことが、なにより説得力があります。

今後とも、母乳放射性物質濃度の調査の継続と公表をお願いいたします。

平成23年5月13日

日本周産期・新生児医学会 理事長 田村正徳  
日本未熟児新生児学会 理事長 戸苺 創  
新生児医療連絡会 会長 中尾秀人

連絡先：新生児医療連絡会事務局長 和田和子

[kwada@ped.med.osaka-u.ac.jp](mailto:kwada@ped.med.osaka-u.ac.jp)